

# 第1回 茨木市総合交通戦略策定協議会 (説明資料)

＜目次＞

1. 茨木市の概況	1
2. 総合交通戦略について	3
3. 茨木市の実情及び課題	6
4. 茨木市の上位計画等について	13
5. 総合交通戦略策定スケジュール	14
6. 総合交通戦略に位置づける施策(例)	16
7. 次回協議会の内容(案)	17

平成24年5月30日  
茨木市

# 1. 茨木市の概況

## (1) 立地特性

人口：276,411人(H24.5.1現在)

位置：大阪府の北部

(大阪市中心部から20km圏内)

面積：76.52km<sup>2</sup>

(東西10.07km、南北17.05km)

### 地勢

北半分：老の坂山地

南半分：三島平野(大阪平野の一部)

### 【土地利用の状況】

**北部地域**：自然環境に恵まれ、山林の緑と一体となった田園景観を残す

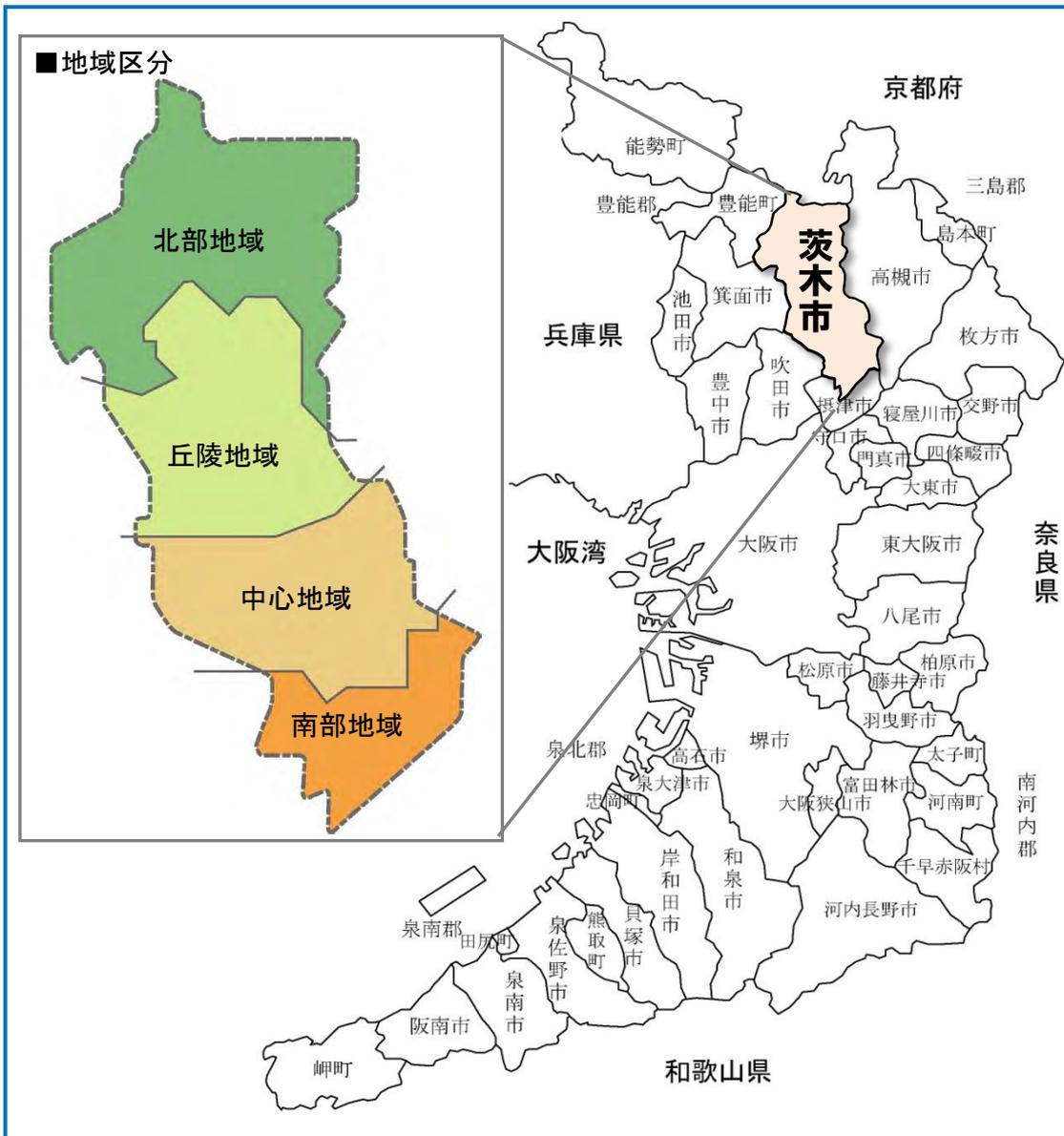
**丘陵地域**：歴史に残る名所や旧跡が点在、学校施設、企業の研究施設等が多く立地

**中心地域**：商業、業務機能が集積

住宅地や幹線道路沿道での工場、流通業務地など、多様な機能が立地

**南部地域**：土地区画整理事業などにより形成された新市街地

幹線道路沿道には中央卸売市場をはじめ、多くの工場、流通業務施設が立地



# 1. 茨木市の概況

## (2) 交通特性

京阪神を繋ぐ国土軸上に位置し、大阪府内を結ぶ地域幹線軸が縦横に交差する、広域的な交通条件に恵まれた地域

### 【国土幹線道路】

- ・名神高速道路
- ・新名神高速道路(事業中)
- ・近畿自動車道

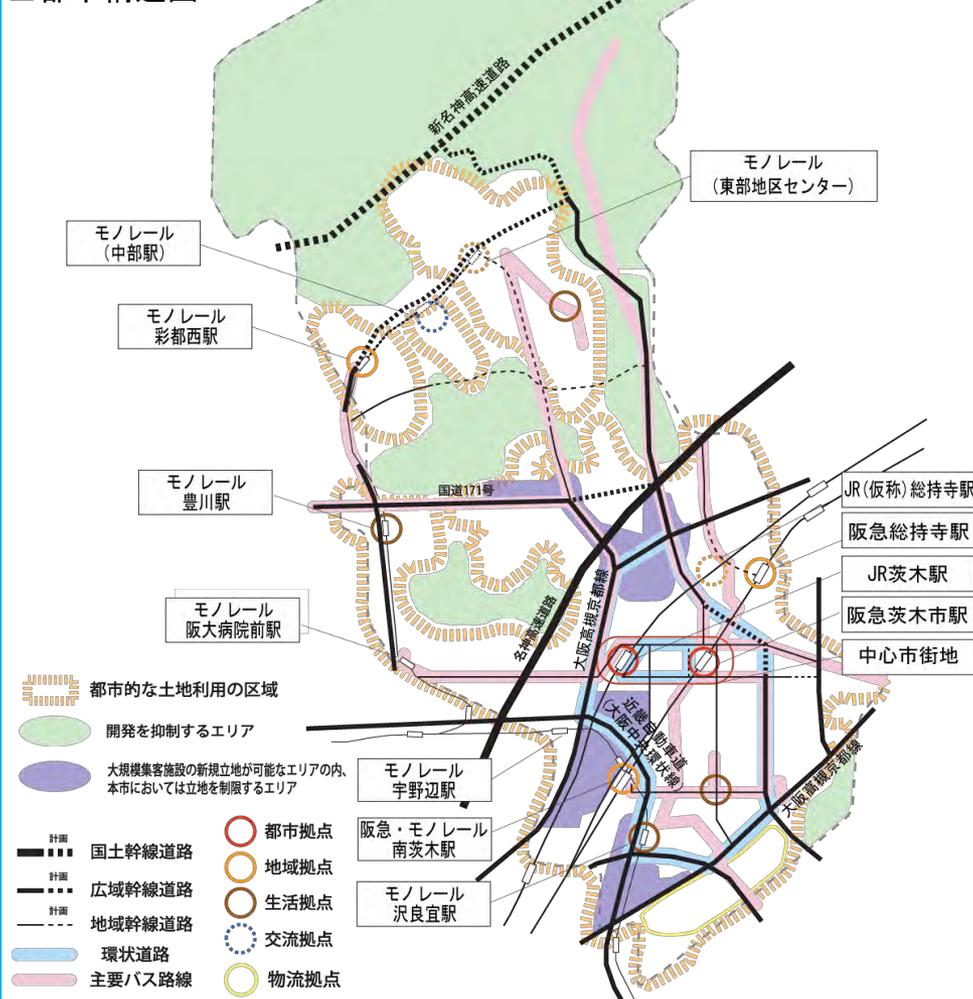
### 【広域幹線道路】

- ・国道171号
- ・大阪中央環状線
- ・大阪高槻京都線 など

### 【鉄道及び駅】

- ・JR 東海道本線  
茨木駅、(仮称)総持寺駅(事業中)
- ・阪急電鉄 京都線  
総持寺駅、茨木市駅、南茨木駅
- ・大阪モノレール  
沢良宜駅、南茨木駅、宇野辺駅、  
阪大病院前駅、豊川駅、彩都西駅

### ■都市構造図



※資料:茨木市都市計画マスタープラン(H19.6 を一部修正)

## 2. 総合交通戦略について

### (1) 都市・地域総合交通戦略要綱(国土交通省)

#### 第一 目的

この要綱は、**進展する少子・超高齢社会への対応、交通渋滞の緩和、交通に起因する環境負荷の低減等**のため、**過度に自家用車利用に依存することなく、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し適切な役割分担のもと、望ましい都市・地域像の実現を図る観点から、地方公共団体を中心として、関係機関・団体等が相互に協力し、都市・地域が抱える多様な課題に対応すべく、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るもの**であり、**もって魅力と活力があふれる都市・地域の整備を行うことを目的とする。**

資料:国土交通省(H21.3.16)

# 2. 総合交通戦略について

## (2) 総合交通戦略とは？

将来像を明確にし、当面重視すべき目標を定め、その実現に必要なとなる具体的な実行方策をとりまとめるとともに、時間を区切って施策、事業を検討・実施する。

### ■目標設定型の計画

#### ×需要追従型(従来)

交通需要に対応した都市交通施策の展開

#### ○目標設定型(総合交通戦略)

目指すべき将来像を実現する都市交通施策の展開

##### 『社会的背景』

- ・人口減少、高齢化
- ・厳しい財政状況
- ・量的ストックはある程度の水準まで達成
- ・ソフト・ハードと一体となった効率的かつ重点的な施策展開マネジメントが必要

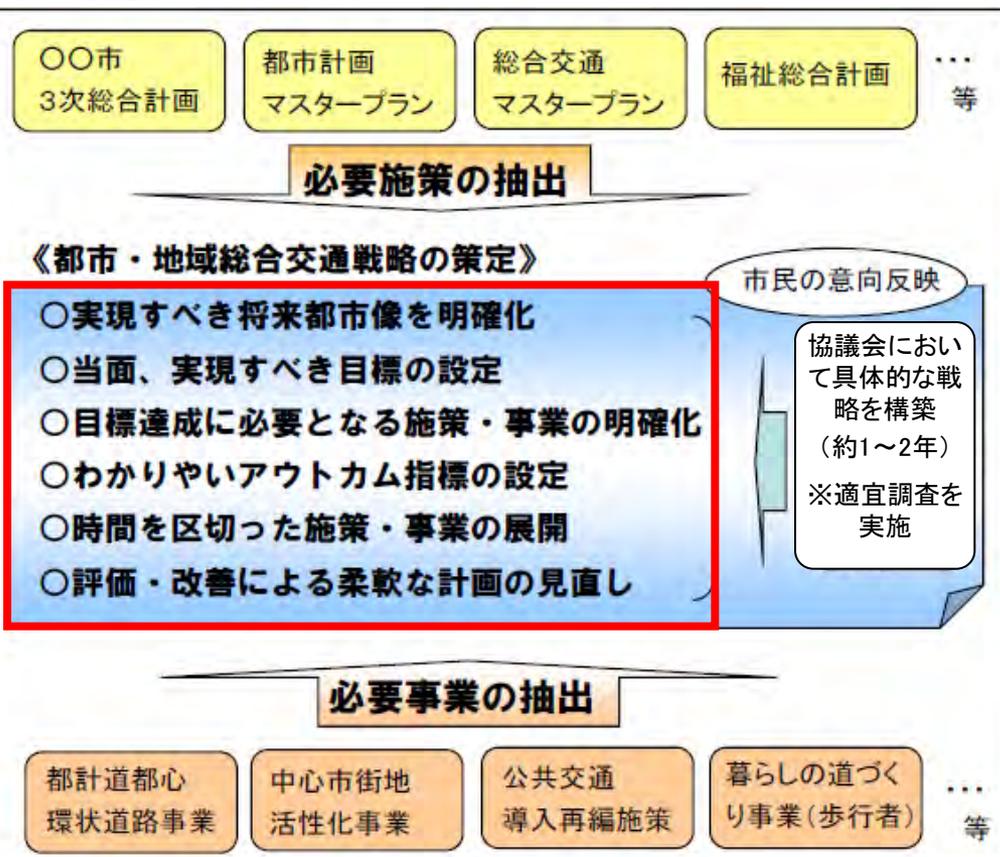
### ■協議会の設置(多様な主体との連携)

・行政内だけでなく民間も含め多様な主体の連携による「総力戦」での取り組み。

・施策の推進が円滑に進められるよう、国による総合的な支援。

### ■関係施策・事業との連携を重視した戦略策定

・関係施策・事業との連携を重視し、より実効性が高く、機動的な展開が可能な戦略を構築



## 2. 総合交通戦略について

### (3) 茨木市における総合交通戦略の必要性

#### 社会情勢

- 少子高齢化  
(移動機会の確保、バリアフリーの促進 等)
- 自転車対策の必要性  
(利用促進、交通安全、走行空間の整備 等)
- 交通渋滞の慢性化  
(道路整備の促進、中心市街地における通過交通の排除 等)
- 環境負荷の低減  
(自家用車利用からの転換 等)

#### 茨木市における、まちづくりの進展

- 立命館大学の進出  
(JR茨木駅周辺の交通需要の変化)
- JR(仮称)総持寺駅、スマートコミュニティ整備  
(東部地域の交通環境の変化)
- 彩都事業  
(公共交通、道路網の検討)
- 新名神、安威川ダム事業  
(アクセス道路、観光利用を見据えた検討)



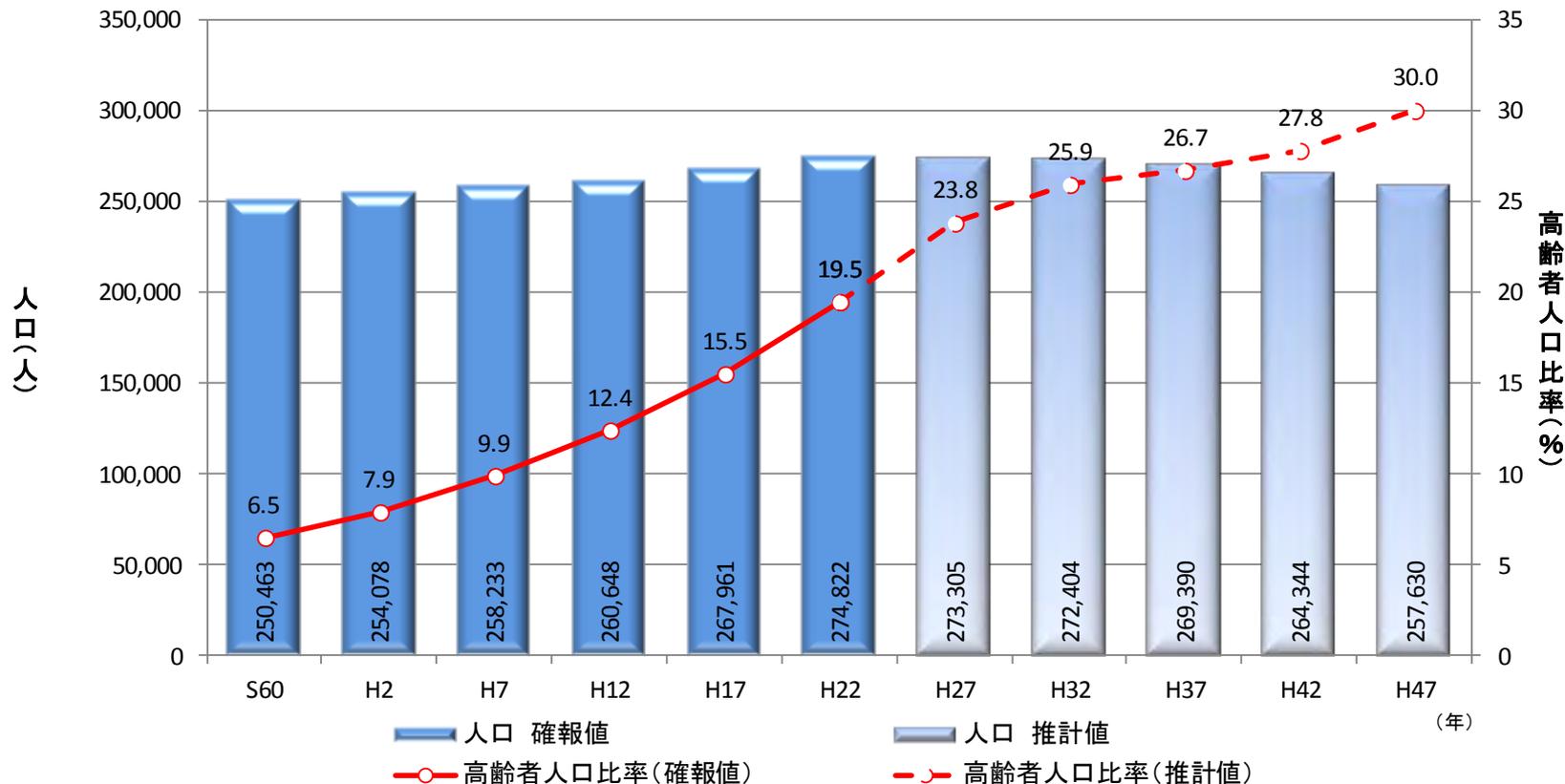
市の将来像を明確にし、その実現に向けた  
交通戦略の策定が必要

# 3. 茨木市の実情及び課題

## (1) 社会情勢

- 茨木市の人口は増加傾向にあるが、将来は、減少に転じるものと予測。
- 高齢者人口比率は、増加を続けており、少子・高齢化が進展している。また、今後はその傾向が続くと予測。

### 茨木市の将来推計人口



※1) S60～H22人口は、国勢調査より

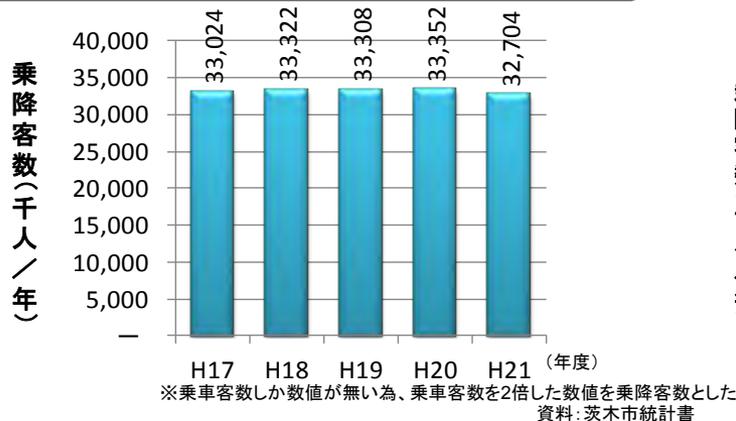
※2) H27～H47人口は、出典：『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計、国立社会保障・人口問題研究所）より

# 3. 茨木市の実情及び課題

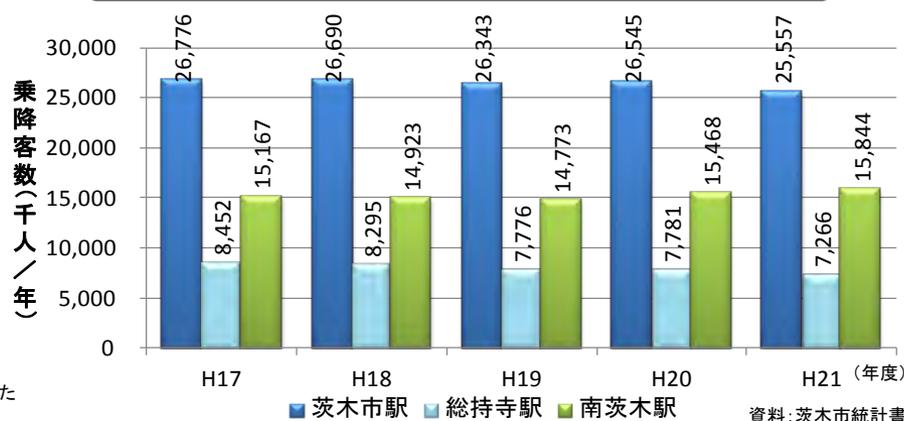
## (2) 交通状況(鉄道)

- JR茨木駅、阪急京都線各駅の利用者数は、横ばいもしくは微減で推移。
- モノレールについては増加傾向。
- 高齢化社会を迎え、高齢者による移動が増加することと予想され、鉄道等の果たす役割がより一層重要となることが想定される。

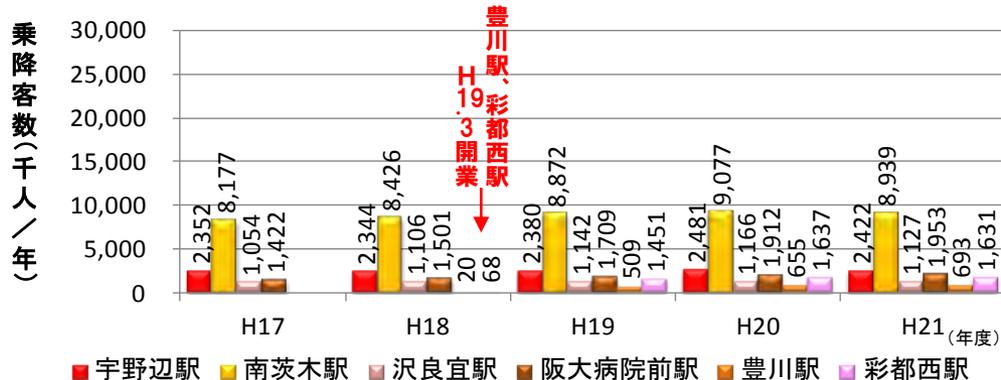
### JR茨木駅 乗降客数の推移



### 阪急京都線各駅 乗降客数の推移



### 大阪モノレール各駅 乗降客数の推移

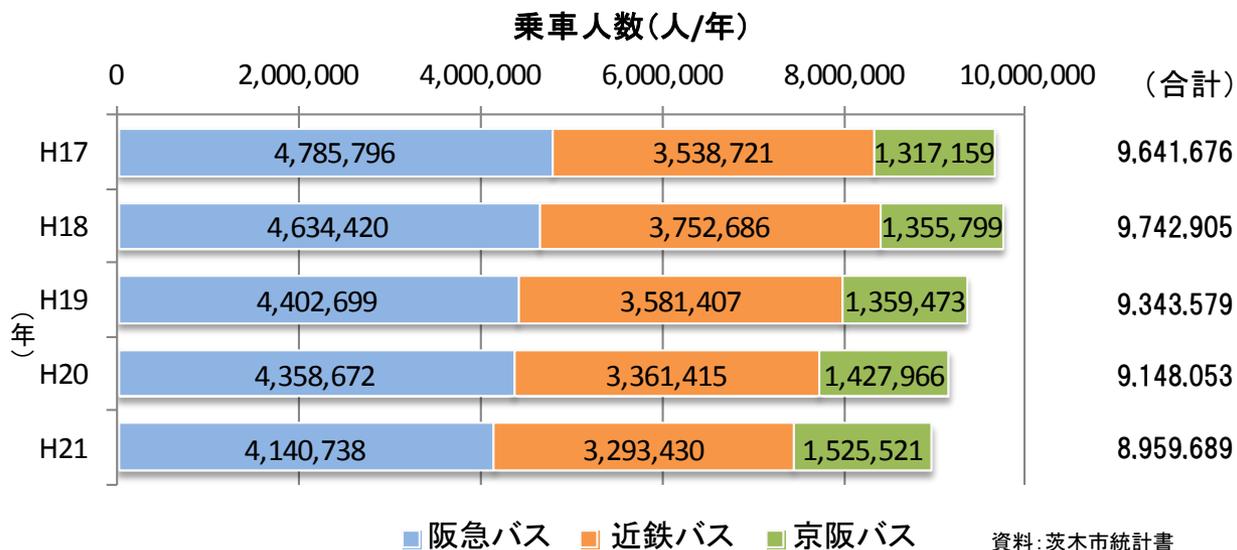


# 3. 茨木市の実情及び課題

## (3) 交通状況(バス)

- バス利用者数は、全体として近年減少傾向（過去5年間で約7%減少）。
- 多くの路線バスはJR茨木駅、阪急茨木市駅間を通過する経路となっており、バス路線が重複。
- 道路渋滞等により定時性の確保に影響。
- 市の北部については、バス路線及び便数が少なく、公共交通空白地帯も存在。  
（→参考資料:P.5右）
- 高齢化社会の進展に伴い、バスの果たす役割がより一層重要となることが想定される。

### バス事業者各社の利用者数の推移

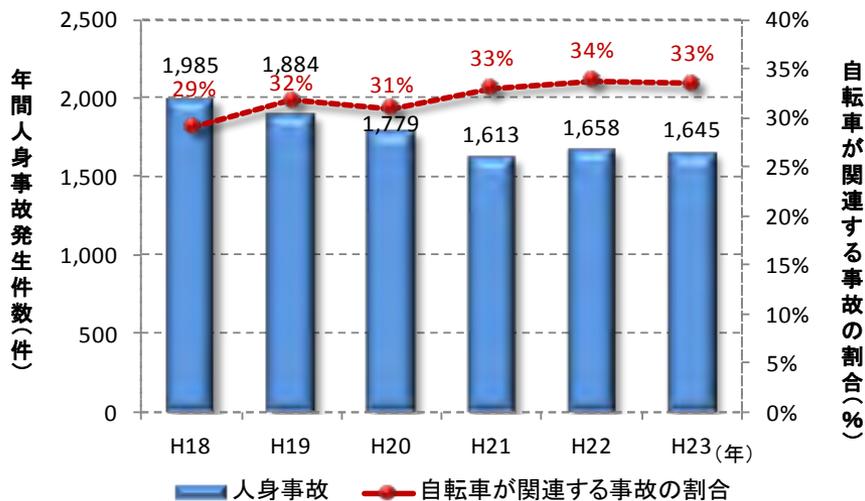


# 3. 茨木市の実情及び課題

## (4) 交通状況(自動車・歩行者・自転車)

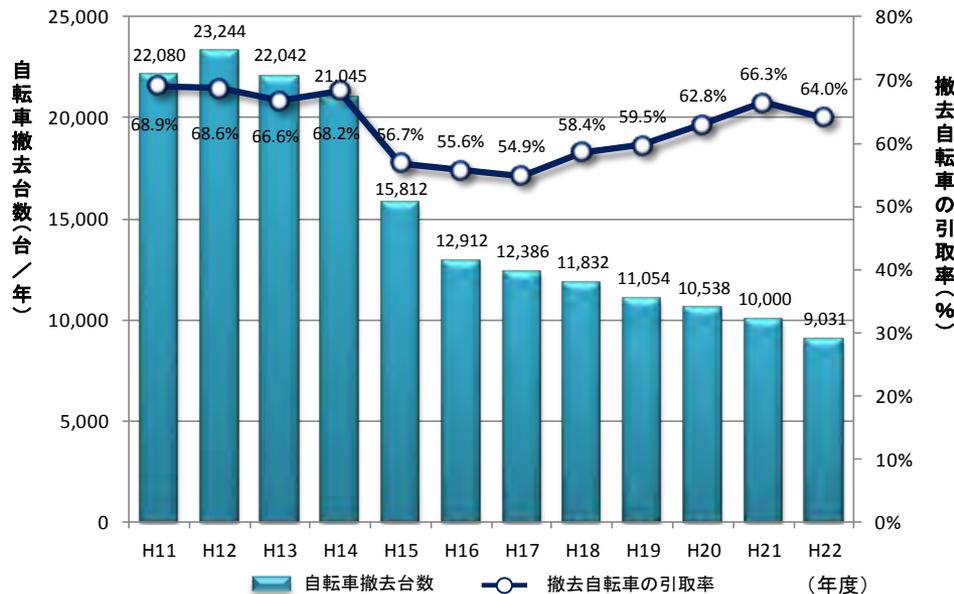
- JR 茨木駅や市役所周辺等の中心地域及び南部地域で道路渋滞が恒常化。(→参考資料:P.3左)
- 茨木市内の人身事故発生件数は減少傾向にあるが、自転車が関連する割合は増加傾向。
- 歩行者、自転車の事故は中心市街地に集中。(→参考資料:P.3右)
- 放置自転車数は減少傾向にあるが、依然として多い。

### 人身事故発生件数の推移



資料:大阪府茨木警察署、茨木交通安全協会

### 自転車撤去台数・撤去自転車の引取率



注)撤去台数は茨木市内全域における合計値  
資料:茨木市資料

原付自転車

3,000  
2,622  
2,455  
2,489  
2,338

撤去台数

80%

# 3. 茨木市の実情及び課題

## (5) 茨木市における主要な事業や計画

### ■ 計画概要

#### ① 立命館大学の進出

- ・新キャンパスの設置、防災公園、市民開放施設、周辺アクセス道路等の整備
- ・平成27年4月に開学を予定

#### ② JR(仮称)総持寺駅の整備

- ・新駅の設置、分譲マンション開発と一体的に、駅前広場、駐輪場等交通結節点を整備
- ・平成30年春に開業を予定

#### ③ スマートコミュニティ整備

- ・太陽光発電を備えた住宅等エネルギーの効率利用を図る環境配慮型都市の建設
- ・平成25年度の事業着手を目指す

#### ④ 彩都事業

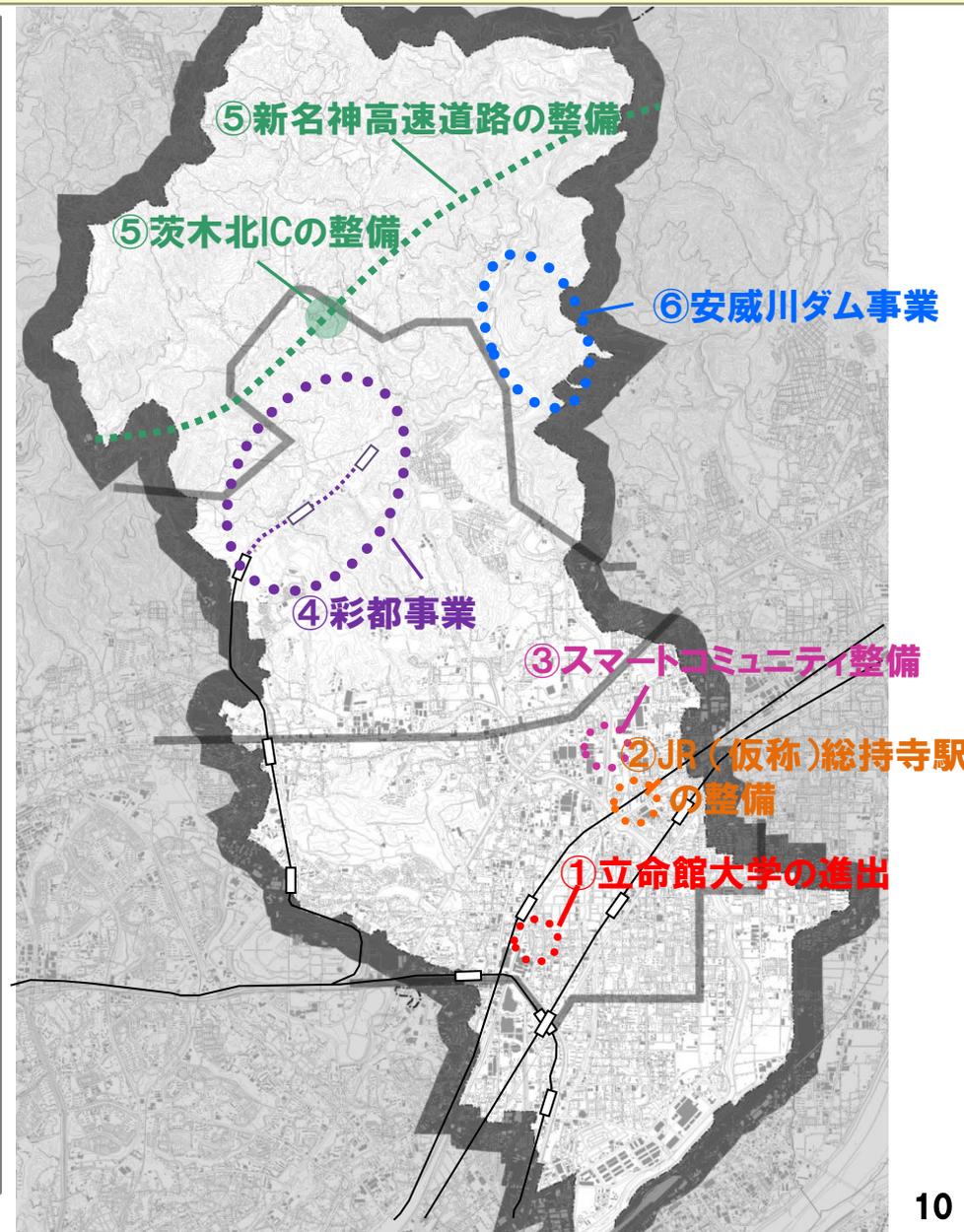
- ・西部地区は平成25年度に概ね事業完了
- ・中部地区は今年度事業着手し、平成27年度のまらびらきを目指す

#### ⑤ 新名神高速道路、茨木北ICの整備

- ・本線、IC、PA、アクセス道路の整備
- ・平成29年3月の供用を目指す(高槻～神戸)

#### ⑥ 安威川ダム事業

- ・ダム本体の建設、アクセス道路等周辺整備
- ・今年度から本体工事着手に向けた準備工事を予定



# 3. 茨木市の実情及び課題

## (6) 簡易アンケート調査

・2012年1月に実施した簡易アンケート調査結果より、主な課題・問題点を抜粋

### 交通事業者（3社）

#### <路線バスの運営上での主な課題>

- ・JR茨木駅、阪急茨木市駅のターミナル容量不足
- ・路上駐輪、交通渋滞、狭隘な道路 等

#### <利用者減少の要因>

- ・少子高齢化
- ・マイカー、二輪車等の利用増
- ・交通渋滞による定時性阻害

#### <その他>

- ・山間部における路線維持に苦慮

### 商店街 等（7団体）

#### <交通における問題点>

- ・自歩道の区分がない
- ・商店街の路上駐輪（駐輪マナー）
- ・市域全体で渋滞が目立つ
- ・阪急茨木市駅西側で通学バス等の駐車スペースが無い 等

### 福祉関連（2団体）

#### <歩道利用の問題点>

- ・車いすでの歩道利用環境  
（段差、ブロックの浮き上がり、路上駐輪 等）

#### <公共交通利用での問題点>

- ・障害者割引（障害者単身での割引適用が無い）

### 小・中学校（35校）

#### <通学路における問題点>

- ・自動車がスピードを出しすぎ
- ・道路が狭い（歩道が無い、狭い）
- ・自動車、自転車のマナーが悪い 等

### 連合自治会（19地区）

#### <交通における問題点>

- ・自動車、自転車がスピードを出しすぎ
- ・自動車、自転車、歩行者が混在
- ・路上駐車、路上駐輪が多い
- ・目的地までにバスの乗継が必要 等

# 3. 茨木市の実情及び課題

## (7) 茨木市の実情から考えられる課題

### ① 移動利便性

- ・高齢者等に対応した移動サービスの確保  
(特に北部地域の山間部や丘陵地域)
- ・鉄道間の連絡強化や、交通結節点の機能強化

### ② 公共交通のサービスの安定性

- ・バスサービスの維持、確保
- ・バス路線の重複、隣接市町との連携
- ・公共交通への転換、利用者数確保

### ③ 移動における様々なバリア

- ・公共交通の利用環境におけるバリアフリー化
- ・異モード間の乗継、運行提供方法、運賃等
- ・歩行者、自転車が安心、安全に通行できる環境づくり

### ④ 交通安全

- ・交通安全啓発の強化・拡充(警察、学校、地域との連携)

### ⑤ 道路混雑

- ・バスのサービス水準(定時性等)が低下
- ・自家用車への過度な依存
- ・中心市街地への通過交通流入、一部路線への集中

### ⑥ 自転車・歩行者空間

- ・中心地域における自転車・歩行者の通行環境が未整備
- ・自転車乗車禁止区域での運転、放置自転車等のモラルの低下
- ・住民要望でも駐輪場の設置や歩道・自転車道の整備が上位(→参考資料:P.6)

### ⑦ 茨木市のプロジェクト

- ・立命館大学の進出(JR茨木駅周辺の整備)
- ・JR(仮称)総持寺駅の整備
- ・スマートコミュニティ整備
- ・彩都事業
- ・新名神高速道路、茨木北ICの整備
- ・安威川ダム事業
- これらの主要拠点を結ぶ適切な交通配置

# 4. 茨木市の上位計画等について

交通戦略の策定にあたっては、「まちづくり」や「交通」に関する上位・関連計画等との整合、連携を図りながら進める。

## ■上位計画

### 第4次 茨木市総合計画 基本構想(H16.12)

#### ◎基調(基本理念)

・希望と活力に満ちた文化のまち いばらき

#### ◎都市像

- ・ころやすらか「福祉充実都市」
- ・くらしやすらか「安心実感都市」
- ・未来はぐくむ「環境実践都市」
- ・活力あふれる「生活躍動都市」
- ・個性かがやく「文化創造都市」

### 茨木市都市計画マスタープラン(H19.6)

#### ◎まちづくりの基本理念

・「人持ち」でつながる「人カタウン」茨木

#### ◎都市づくりの10のテーマ

- ①市民が集い語らう場を増やす
- ②暮らしの安心・安全を確保する
- ③多様な暮らしを支える住宅・住宅地を守り、つくる
- ④都市の活力を高める産業を守り育てる
- ⑤中心市街地等の暮らしを支える拠点を活性化する
- ⑥茨木のまちの資源を活かす
- ⑦周辺と調和した景観・環境づくりを進める
- ⑧無秩序な市街地の拡大を抑制する
- ⑨地域と暮らしを支える交通システムを構築する
- ⑩生活の範囲の広がりも考慮し周辺都市との連携を図る

## ■関連計画

### 茨木市高齢者保健福祉計画(第6次)(H24.3)

#### ◎基本理念

・高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり

### 茨木市障害者施策に関する第3次長期計画(H18.3)

#### ◎基本理念

・障害者の地域での自立生活と共生社会の実現

### 茨木市環境基本計画(第6次)(H16.3)

#### ◎めざすべき環境像

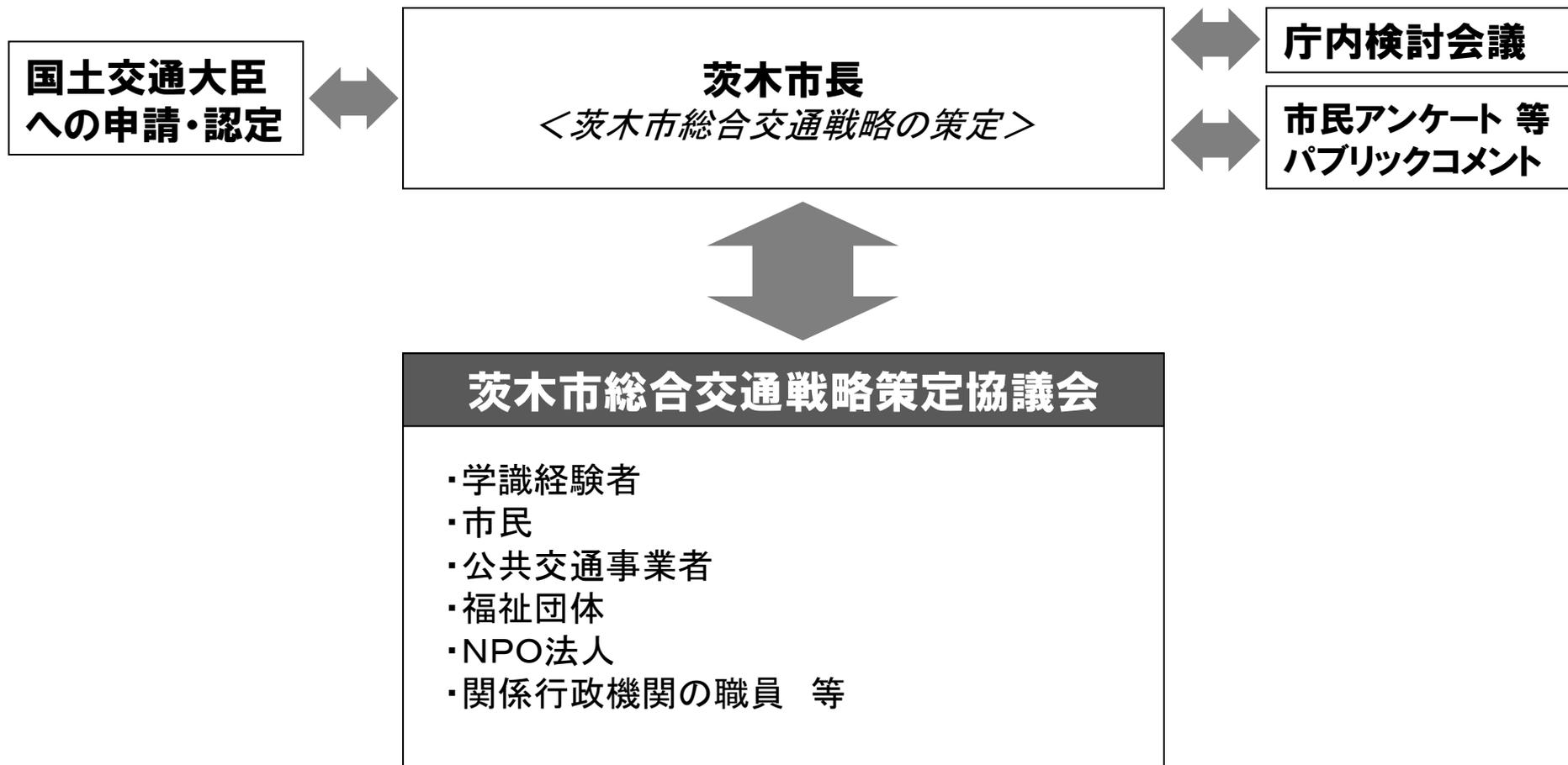
・人と環境にやさしいまち都市—茨木

⋮

**茨木市総合交通戦略(H26策定予定)**

# 5. 総合交通戦略策定スケジュール

## (1) 交通戦略策定に向けた検討体制



# 5. 総合交通戦略策定スケジュール

## (2) 総合交通戦略策定までのフロー

### ◆協議会における主な検討内容(案)

平成24年度

茨木市における都市交通の課題整理  
○現況把握 ○課題整理

過年度調査(アンケート等)  
近畿圏パーソントリップ調査

【第1回 平成24年5月30日(水)】  
1.茨木市総合交通戦略策定の経緯  
及び目的について  
2. 策定スケジュールについて

将来の交通体系づくりの基本方針の策定  
○目指すべき将来像(交通体系)の整理  
○基本方針の整理

市民アンケート調査

【第2回 平成24年9月】  
1. 都市交通の課題整理の報告  
2. 目指すべき将来像(骨子)の提案  
3. 市民アンケート調査項目の提案

長期的な都市交通計画の策定

○概ね20年後の目標  
○目指す将来交通体系実現のための長期的な施策計画を検討  
・道路網計画、自転車・歩行者対策のあり方、公共交通計画のあり方、  
モード間の連携(交通結節点)方針、交通需要管理施策の方針 など

【第3回 平成24年12月】  
1. 将来の交通体系づくりの基本方針  
2. 長期的な都市交通計画(素案)

【第4回 平成25年3月】  
1. 長期的な都市交通計画の策定

短・中期的な計画(総合交通戦略)の策定

○概ね5～10年後の目標  
○総合交通戦略の策定方針  
○施策への展開検討  
○実行計画、推進体制の検討

【第5回 平成25年7月】  
1. 短・中期的な目標設定について

【第6回 平成25年9月】  
1. 総合交通戦略(素案)

【第7回 平成25年12月】  
1. 総合交通戦略(案)

パブリックコメントの実施

【第8回 平成26年3月】  
1. パブリックコメントの実施結果  
2. 総合交通戦略の策定

## 6. 総合交通戦略に位置づける施策(例)

### 課題

- ① 移動利便性
- ② 公共交通のサービスの安定性
- ③ 移動における様々なバリア
- ④ 交通安全
- ⑤ 道路混雑
- ⑥ 自転車・歩行者空間
- ⑦ 茨木市のプロジェクト



### 施策(例)

- ・公共交通の充実
- ・道路整備
- ・歩行者・自転車通行環境の整備
- ・バリアフリーの推進



市民・交通事業者・行政の役割分担

## 7. 次回協議会の内容(案)

### 【第2回 茨木市総合交通戦略策定協議会】

- ・開催予定：平成24年9月
  
- ・主な議題(案):
  1. 都市交通の課題整理の報告
  2. 目指すべき将来像(骨子)の提案
  3. 市民アンケート調査項目の提案